

お茶の水女子大学『ジェンダー研究』投稿規程

(2016年7月4日改定)

- 『ジェンダー研究』の内容は、女性学・ジェンダー研究に関する、学術的研究に寄与するものとする。
- 投稿者は、原則として、本学教職員・大学院生・研究生・研修生・卒業生、本研究所の研究者、研究協力員、および本研究所長が認める本研究所の活動に関係の深い研究者（研究プロジェクト参加者、研究会報告者など）とする。
- 投稿する原稿は未発表の初出原稿とする。
- 投稿原稿は完成原稿とし、レフェリーによる審査の上、編集委員会が採否を決定する。
- 投稿申し込みをした後で投稿を辞退する場合は、速やかに編集委員会に申し出ること。
- 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。ただし、図・表その他が多い場合には、執筆者による自己負担となることがある。
- 掲載原稿は、抜き刷りを贈呈する。なお、それ以上の部数については、あらかじめ申し出があれば執筆者の自己負担によって増刷できる。
- 原稿執筆における使用言語は原則として日本語または英語とする。日本語／英語以外の言語による投稿に関しては、編集委員会において検討する。
- 投稿原稿は原則として、
 - 日本語の原著論文は注・図表を含めて20000字以内、英語の原著論文は注・図表を含めて8000語以内、
 - 日本語の研究ノートは注・図表を含めて15000字以内、英語の研究ノートは注・図表を含めて6500語以内、
 - 日本語の研究活動報告は注・図表を含めて6000字以内、英語の研究活動報告は注・図表を含めて4500語以内、
 - 日本語の書評は4000字以内、英語の書評は1600語以内とする。
- 日本語については当用漢字とし、現代仮名づかいを用いる。なお、引用文等に関して旧漢字、旧仮名づかい等の問題が生じる場合には、前もって申し出ること。
- 論文等の提出時には、名前、論文タイトル（副題も含む）の英語表記も表紙に記しておく。ただし、タイトル等の英語表記は、確認のうえ編集事務局で変更する場合もある。
- 図・表・写真および特殊な文字・記号の使用については編集委員会に相談すること。
- 原則として原稿はワードプロセッサで入力し、原稿を印刷したもの2部を提出すること。原稿のデータファイルCD-R等の媒体に記録して、それを添付して提出のこと。
- 図・表を使用する場合は、同一ディスクに別ファイルを作成する。
- 本文、引用文、参考文献、注については、別に定める『ジェンダー研究』執筆要項に従う。
- 翻訳の投稿に関しては、投稿者が原著者から翻訳許可の手続きを行い、許可取得後に投稿する。そのさいの費用に関しては投稿者が負担する。なお、翻訳投稿をする場合、原則として論文「解題」を行う。
- 掲載論文の著作権はお茶の水女子大学ジェンダー研究所に帰属するものとする。転載を希望する場合には、ジェンダー研究所の許可を必要とする。
- 他の文献等から図、表、写真などの転載を行う場合は、原則として投稿者が自らの責任において必要な手続きを行う。そのさいの費用に関しては投稿者が負担する。
- 投稿論文や研究ノート等の最終原稿(※)には、

19-1. 英文要約を添付する。200 words 以内とする。

なお、英文原稿の場合は、要約を日本語としてもよいが、事前に確認のこと。

19-2. 内容を的確に表わすキーワードをつける。5ワードまでとする。

(※) 掲載決定後に修正した原稿を指す。